「長良川9.12豪雨災害リレーパネル展」

In　大垣市輪中館（2026/06/14～07/30、09/02～09/14）

長良川9.12豪雨災害

木曽川上流河川事務所

昭和51(1976)年、岐阜県安八町での堤防決壊などにより長良川沿いに広く浸水被害をもたらした「長良川9.12豪雨災害」から、今年で50年が経ちました。

自然災害が多発する今、長良川9.12豪雨災害の被害や復旧活動の写真を中心に展示することにより、その時の経験と教訓を次世代へ語り継ぎ、防災意識を高めて地域防災力の向上につなげていくため「リレーパネル展」を開催しています。

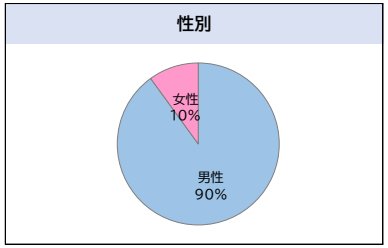


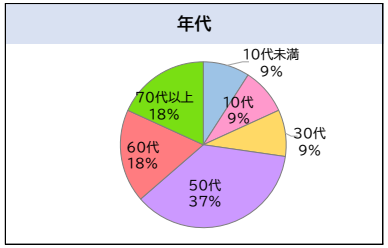


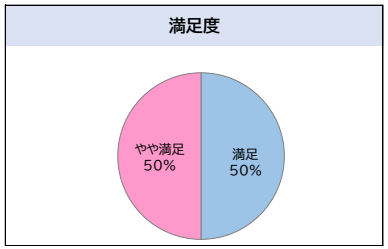


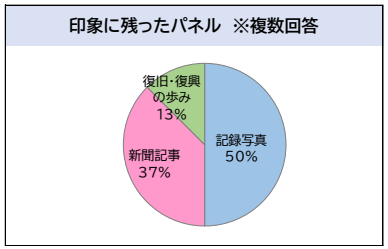
パネル展示

【パネル展に関するアンケートの結果】（回答人数:１０人）









＜アンケート結果のまとめ＞

10割(100%)の方が「満足」または「やや満足」と回答し、来場者の皆さんから好評をいただきました。また、記録写真が最も印象に残った展示として挙げられ、当時の災害の状況を伝える資料への関心の高さがうかがわれました。来場者は10代未満から70代以上までの幅広い年代にわたり、豪雨災害の記憶や教訓を振り返る有意義な展示会となりました。

＜パネル展への主な感想＞

- 記録写真を通じて、被災当時の状況や災害の恐ろしさが伝わった。
- 当時を知る世代には災害の記憶を振り返る機会となり、知らない世代には被害の実態や教訓を学ぶ機会となった。
- 災害への日頃の備えや防災意識の重要性を再認識した。